

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	キッズサポートらら・こぼん		
○保護者評価実施期間	2025年1月14日		～ 2025年2月1日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	28名	(回答者数) 21名
○従業者評価実施期間	2025年1月11日		～ 2025年1月18日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	4名	(回答者数) 4名
○事業者向け自己評価表作成日	2025年2月17日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	多様なあそびを実施	夏祭り、ハロウィン、クリスマスなどの季節行事、戸外活動(公園への外出、散歩)製作あそび、固定遊具などを使った運動遊び、表現あそび水遊びやスライムづくりなどの感覚あそびなどを行っている。 ハンディキャップの種類や年齢が様々であるので、看護師や理学療法士のアドバイスを受け、保護者からも情報を得ながら個別配慮も行った上であそびを準備し実施している。	月案、週案をさらに計画的に立てていきたい。 『年齢相応の経験』を積み重ねられるよう、また『地域の保育園への移行』『小学校進学』などを見据えながらあそびや日常生活のサポートを行いたい。
2	様々なハンディキャップの方も受け入れ可能	0歳からの早期受け入れを行っており、看護師、理学療法士が配置されているので、医療的ケアが必要な方も受け入れ可能。 保育園や他の福祉サービスとの並行通園をされている方が多い。保育園への移行支援も行っている。	引き続き、多職種で連携をとりながら情報共有を行い、チームでの支援に努める。 併せて、関係機関との連携も図りながら、子育て、発達支援のサポートを行いたい。 職員の専門性をさらに高めるため、内部、外部研修に積極的に参加したい。
3			

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	保護者への避難訓練実施の周知が不十分	火災想定、水災害想定での避難訓練を年に一回ずつ実施しているが、概ね同じ曜日に実施している。 参加している利用児の保護者は、避難訓練をしていることを把握していると思われるが、全保護者には、避難訓練を行っていることが周知されていないと考える。	①訓練の様子を連絡帳や口頭で保護者に伝える ②SNSで訓練時の様子を発信する。 ③各種お知らせに、訓練実施の報告を掲載する。
2	各種マニュアルの存在を周知できていない	各種マニュアルがあることを、全保護者に周知できていない。	年度初めに配布するお知らせに、各種マニュアルがあることを掲載する。
3	地域との交流機会、保護者同士の交流機会が不足している	公園に出かけたり、近所を散歩をしたり、年に2回近隣の幼稚園との交流会を実施している。他にも、地域の方、利用者を対象としたイベントも開催している。 また、「保育所や幼稚園等との交流や地域の子どもと活動する機会」がニーズとしてどこまで求められているのか、探りたい。	引き続き、あそびのプログラムに、公園や地域の公共施設への外出、散歩、交流会を取り入れる。 地域の方も対象としたイベントを開催する際には、“気軽に参加できる”をポイントに工夫したい。